

# そうじゃ総合教育会議会議録

令和2年4月9日開催

## そうじゃ総合教育会議会議録

○令和 2年 4月 9日 (木曜日)

1 開 会 令和 2年 4月 9日 午後 4時00分

2 閉 会 令和 2年 4月 9日 午後 4時50分

### 3 構成員

#### 出席構成員

○総社市長 片岡 聡一 ○教育長 山中 榮輔

○教育長職務代理者 林 直人 ○教育委員 小鍛治 一圭

○教育委員 三宅 眞砂子 ○教育委員 上岡 仁

○教育委員 児島 塊太郎

### 4 関係者

○副市長 大塚 康裕 ○政策監 中島 邦夫 ○教育部長 服部 浩二

○教育部学校教育課長 井上 徹 ○教育部こども夢づくり課長 小野 玲子

○保健福祉部長 吉田 啓 ○保健福祉部健康医療課長 平田 壯太郎

○校長会長 能勢 健士 ○校長会副会長 東 長典 ○次期教育長 久山 延司

### 5 事務局

○総合政策部長 脇 奈七 ○政策調整課長 内田 和弘

○政策調整課課長補佐 渡邊 康広 ○政策調整課主査 前原 夕美子

○政策調整課主査 前田 光彦 ○政策調整課主事 下野 知恵

### 6 会議録署名人

総社市長 片岡 聡一 教育長 山中 榮輔

### 7 協議事項

(1) 小中学校等における教育活動の再開等について

(2) その他

### 8 議事経過の概要

次のとおり

開会 午後4時00分

○ 司会（協部長） ただいまから、そうじゃ総合教育会議を開催いたします。

本日の会議は、新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく緊急事態宣言を受け、お手元の資料、「そうじゃ総合教育会議の運営について」の2の（2）にあります。児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生じるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に構すべき措置について協議等を行うために開催するものです。

まずは、本日の会議等の進め方等についてご説明いたします。お手元の議事次第をご覧ください。本日の協議事項は、「小中学校等における教育活動の再開等について」にあります。この協議についてまずは片岡市長からお考えを述べていただきます。次いで、教育委員会から教育委員会の方針についてご発言いただきます。最後に意見交換という進行を予定しております。なお、そうじゃ総合教育会議は原則公開で開催することとされており、また議事録を作成して公表することとされており、議事録作成のため、また記録のため、録音をさせていただくこと、広報担当が写真を撮影すること、この2点についてお許しいただければと思います。よろしいでしょうか。

（異議なし）

ありがとうございます。それでは片岡市長から、教育活動の再開等についてご発言をお願いいたします。

○市長（片岡市長）皆様、大変ご苦勞様です。この会議は、司会者が申しましたように「そうじゃ総合教育会議の運営について」の2の（2）にあります。児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生じるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に構すべき措置について協議等を行うために開催するものです。この会議の性格上、招集者は、市長ということになっております。ということで、各委員におかれましては、お忙しい中ご臨席賜り、協議に加わっていただき感謝申し上げます。また、本日は、公開ということで多くの市議会議員の方々、学校関係者の方々もおいででございますので公開の場で開催させていただきます。もうひとつ、「学校を開始する。休校を延長する。」ことは、山中教育長の特権事項でありますから私から意見は述べさせていただきますが、皆様方に議論をしていただき、その議論を参考に山中教育長が決定することですので誤りのなきようお汲み取りください。休校の延長が4月13日までになっておりまして、予定では4月14日に学校を再開する。あるいは、休校を延長するこの瀬戸際にて

おりますのが本日4月9日であります。段取り的には、できるだけ早く再開か延長かを決めないと14日の日がどういう形で迎えられるか、事務的な手続きが間に合わない物理的に準備ができないタイムリミットが本日の午後までだと思っていますので、このタイミングで招集させていただきました。私の考えを申し上げますと学校は、再開すべきではないと思います。現に本日午後3時に岡山市の記者会見で20代女性が新たに感染者と認定され、岡山県で実に15人の感染者がでたということになります。それから、安倍総理による緊急事態宣言が出されて3日目になりますが、昨日は東京で144人の感染者、日本全国で400人を超える感染者が確認されています。7つの都府県に緊急事態宣言が発令され、岡山県の県境の兵庫県までに及んでいます。また、愛知県も加えてほしいと愛知県側から国に対して申請をしております。私は、全国市長会の経済委員長をしておりますが、本日相馬市の立谷全国市長会会長、行政委員長、保健福祉委員長と自民党本部で岸田政調会長に対して国に地方の事情を説明し、これからの地方自治についてとこれから100兆円を超えるお金をどう使っていくか協議をしてきたところです。国も全国市長会の他の市も危機感でいっぱいでございます。さらに、これからどこまで広がっていくのかを懸念しております。学校を開く、開かないを議論している場合ではないというのが国レベルの考え方であります。岡山県みたいに再開するところしないところ、しないところが総社市、玉野市、赤磐市だけだと「えっ」と言われる。それが今の全国レベルの感度です。ということは、岡山県は、本当に今置かれている環境の中で感染者が日々どんどん増えている中で「まだ学校を開くのか？」と他府県の首長から言われるというのはどうかと思いました。それが危機感のない岡山県になっているひとつの謂れではないかと思えます。総社市の子供たちを守っていくことは、総社市民全体を守っていくことであります。子供はうつらない、空気感染もないなどいくつもの神話が崩れていってどれが本当なのかわからないということになっていますが、総社市として最善の努力をしていく、感染に対して徹底的にできる限りの対策を行っていく、命を守っていくそれが大切なことだと思います。これは、本当に覚悟が必要です。「もう少しだけ様子を見よう」「他市の対応はどうか？」そういうことではないと思えます。総社市としてどうやって市民を守っていくのか、これを決めるか決めないかということだと思います。子供にうつり、家にいるおじいさん、おばあさんにうつり、そのおじいさんが糖尿病だったので死にました、ということにならないようにしなければいけません。あるいは、学校でクラスターが起こる

前にしかるべき措置をとって再開すべきだと思います。また、その期間については私が申し上げる立場にありませんがこのような会議を一週間ごとに開いて「さて、来週の対応をどうする？」ということではいけないのではないかと思います。かなり長期的な視野を持って判断すべきテーマではなかろうかと思います。いずれにせよ、学校現場に大きな混乱をもたらし、山中教育長の決断についても行くも帰るもいばらの道というような決断になろうかと思います。総社市内の山中教育長を長とする学校教育現場の方々、教育委員の方々の賢明なご判断をよろしくお願いします。すべては、総社市民を守るため、子供を守るためです。学力低下もあると思います。共働きの家庭や「もう疲れたよ。」と言って来られる放課後児童クラブの方々や日中一時支援の方々、そもそもそこで感染が起きているのではないかと危惧されている方もたくさん私のもとに来ています。しかし、それ以上に子供の命を守ってほしいという意見がその倍も来ているのも事実です。我々も覚悟を決めて守るということはこの会議でご協議願いたいと思います。どうぞよろしく願います。

- 司会（脇部長） ありがとうございます。それでは、続きまして、教育長から教育委員会の方針についてご説明をお願いいたします。
- 教育長（山中教育長） 事態は、かなり急変しております。岡山県におきましてもかなりの感染者が発生しております。総社市においても東京や大阪から大学生がどんどん帰ってきております。こういう方たちが感染しているのかはわかりませんがそういう中で判断したいと思います。14日から学校を再開しようと思っておりましたが状況の変化に応じてこの場で議論をお願いしたいと思います。私自身はですね、市長のおっしゃる通り子供の命を守るのが一番だと思います。もうひとつ中学校3年生の保護者から「授業日数の確保をどうするのか？」という声があります。授業日数の確保をやらないといけないということですが命があって授業日数を確保するということだと思います。そういう意味で大いに議論をしていただければと思います。よろしくお願いします。
- 司会（脇部長） ありがとうございます。それでは、意見交換とさせていただきたいと思います。何かご意見ございますか。
- 教育委員（児島委員） 教育現場の校長先生から今の状況で子供たちがどう思っているかをお聞かせ願って、それを聞いた上で我々もご意見を申し上げたいと思います。
- 司会（脇部長） そうでしたら、校長会から能勢会長と東副会長にお越しいただいて

おりますのでご意見いただけますか。

- 校長会会長（能勢校長） 明日は、入学式を予定しております。もちろん規模縮小でやります。それから7日始業式を行いました。不登校の子供もいますがほぼ全員が出席されています。校舎が一時的ではありますが活気にあふれました。先生方も本当に笑顔でした。本題に入りますが私は、維新小学校ですから小規模校です。子供たちが登校して授業を受けてほしいという願いを毎日持っております。とはいえ、状況が状況であるので市長、教育長の説明よくわかります。ですから、休校を延長する考え方は理解できるができれば登校日を設けてほしい。こういう気持ちです。
- 校長会副会長（東校長） 中学校の代表で来させていただいています。中学校では、学力保障の件が気になっています。3年生は、待ったなしで入試に臨まなくてははいけません。今の状況は、本当に厳しいものがあるので14日からすっきり再開は難しいので休校の延長は、仕方ないと思いますが週に1回でも定期的に登校できる日を許していただけて、その時に次に向けた課題を少しずつ出して行って学習の内容を少しずつ進めていくような措置を取らせていただけたらと思います。それが現実的だと思います。
- 司会（脇部長） ありがとうございます。今のご意見を踏まえて何かご意見がございますか。
- 教育委員（三宅委員） 吉備医師会の方でも総社市と連携して医療崩壊を防ぐ対策を行っています。5月まで休校して終息するとはとても思えない。少なくとも3か月ぐらいは、今の状況が続きやがては普通の風邪に2、3年かけてなっていくのではないかと考えております。ですがずっと1年間休校にすることはできないと思います。子供たちも疲れています。家庭の中で虐待なども出てきていますのでメンタル面のフォローも大切だと思いますが1か月では終わらないと思います。
- 司会（脇部長） ありがとうございます。今までのご意見を踏まえて何かご意見がございますか。
- 教育長職務代理人（林職務代理人） 校長先生の意見を聞いていますと学習面についての危惧があります。どれぐらいなのか計算してみました。前年度の積み残し、つまり3月から休校にしましたので小学校で20時間～25時間、中学校で30時間になります。これは、どこかでやらないといけない。小学校ですと夏休み2日間と家庭訪問の5日間を取りやめることで確保できます。中学校ですと夏休みを5日間廃止することで確保で

きます。さらに、新年度になって1週間立ちます。さらに、1週間延長したとして10日分くらいは、授業ができなくなります。そうしますと授業の補充を考えると難しいと思います。ではどうすればよいのかという要所要所で学校教育の内容と家庭教育の課題をうまくバランスを取って指導していくことが望ましいと思います。もちろん、コンピューターなどのインターネット環境が全家庭にあればよいがそこは十分ではないという状況から考えた時には、やはり学校の先生方の指導があつてからこそ達成できるものではないかと思っています。また、テレビは各家庭にあるのでNHKは教育番組等もやっていますのでこういったことも考えていただければよいかと思います。いずれにしても、どこかで1回は、子供たちと顔を合わす機会を考えていくことが大事ではないかと思っております。東校長先生より中学3年生についてのお話がありましたが倉敷市と総社市の子供が一斉に受験するということになりますので倉敷市のことも気になります。保護者の方も休校でも納得できるメッセージを伝えていくことが大事だと思います。

- 司会（脇部長） ありがとうございます。何かご意見がございますか。
- 教育委員（児島委員） 私は、倉敷市で美術館の館長をしております。若い人たちが行くところがなくて倉敷にいっぱい来られている。その現象を見ると都会から来られているのかわかりませんが必ず何かを持って入ってくるように私は思います。休校は、苦渋の決断ではあるかと思いますが休校にして週に1回登校していただいて、先生方は大変かもしれませんが1週間の指導を1日かけて行っていただいて、また来週会いましょうということで教育現場を守って行く方向がよいのではないかと思います。顔を見てあげるといのが子供たちも安心するのではと思います。先生方の負担は、かなり大きいと思いますが、市長が言われたように学校に行って命を失ったということになれば大変なことになるので再開だけはやめた方がよいと思います。それから、高梁市は、公共施設をすべて閉館にする決断をしています。また、この土曜日から大原美術館も閉館します。これも苦渋の決断ですが開ければ来られる方がおられる。そこが危ない。来ていただくことはありがたいが持ち込まれることが怖い。非常に大変だとは思いますが休校を延長されたほうがよいと私は思います。
- 司会（脇部長） ありがとうございます。何かご意見がございますか。
- 教育委員（上岡委員） 私も子供の命最優先は、仕方ないと思います。しかし、先程からご意見がありますようにいつまで続くかわからない、ずっと休校は難しいと思います。

とすれば、校長先生方からもご意見が出ましたが登校日を設けて昨年度末の補充も含めて学力保障を行う。併せて子供たちの心身の健康を生活面から支えて学習のリズムを作ることが大事だと思います。ここで延長期間は決まらないかもしれませんが、私個人的には、1か月やっても終息しないと思います。少なくとも緊急事態宣言が発令している期間は、考慮すべきだと思います。

- 司会（脇部長） ありがとうございます。今、休校の延長期間の話も出ましたが他に何かご意見がございますか。今までの話を伺いますと皆様、休校延長については、意見の一致をみているような気がしております。その上で何らかの学力保障の措置を講ずべきであるとそういったようなご意見であると思いますがそれでよろしいでしょうか。休校の期間につきましては、ご意見がございましたが1か月では終息しないと思うものの緊急事態宣言が発令されている期間がおおよその目安ではないかというご意見もございましたがそのようなご意見ということではよろしいでしょうか。
- 次期教育長（久山次期教育長） 学習のサポートをどのようにしていくかということから意見を述べさせていただきます。授業日数の確保は、できないと思います。林職務代理者が言われたのは、学習内容を補完するのに必要な時間であって失われた時間は、倍以上あります。日数を確保するという事は、考える段階ではないと思います。学力保証という観点で考えていかなければならないと思います。授業は、教わる、話し合って深める、演習するという活動があります。教わるというのは、授業でないとできません。話し合うことも友達がいないとできません。しかし、演習は、家庭学習でできる。この部分をいかに家庭でできるように学校や教育委員会でサポートするかということが大切だと思います。ICTの活用もあるでしょうし、その環境にない方にはプリントを自宅に届けるなど家庭学習をいかにサポートするかで、ある程度の補完ができるのではと思います。そういうことで考えると期間のことですが短いに越したことはないが今の状況を見ると大型連休まで休校ということも視野に入れていかなければならないと思います。
- 司会（脇部長） ありがとうございます。今のご意見を踏まえて何かご意見がございますか。
- 教育長職務代理者（林職務代理者） 期間についてどうなのかわからないのですが7都府県に緊急事態宣言が発令されて大学生が追い出されている部分もあります。どこに行

くのかという地元に帰りなさいと言われていた。極端な話をすると総社にも帰ってきます。そうすると、連休の終わりごろに帰ってきて家族や友達と接触し発症する可能性があります。単純に考えると1か月半は、最低でもみておく必要があるのではないかと思います。そうすると長丁場で子供たちも家庭も支援できるような方法を探っていくことがよいのではないかと思います。

- 教育委員（上岡委員） 学校教育課は、どのような支援を考えられていますか？
- 学校教育課（井上課長） 失礼いたします。本日、別添でA4カラー刷りの資料を用意しています。先程から家庭学習支援がキーワードで出て参りました。学校教育課といたしましては、家庭の学習を支援するポータルサイトを立ち上げる計画をしております。ICTを活用した家庭で学べるサポートでございます。ポンチ絵の右下をご覧ください。家庭学習支援ポータルサイト「うちスタ（仮称）」です。例えば、登校日を設定してそこで学んだことを家に帰ったらICTを活用して学びを深めることで定着を図る、そんな計画を立てております。先生たちが子供たちに学びを届けたいという熱意を持っております。それを短い動画コンテンツ（1本3～5分）にしてポータルサイトにアップしていきます。オンデマンドをイメージしています。子供たちがいつでも学びたい時に繰り返し学べる。配信で終わりではなく、わからなければもう一度その動画に戻る。あるいは、プリントを繰り返す。いつでも学びたい時にポータルサイトに行けば自分の学びたいものがある。そういうポータルサイトにしていきたいと考えています。私どもだけではできません。各学校からポータルサイトを作り上げるための先生を集めて短期間のうちにサイトの立ち上げに持っていきたいと考えています。
- 司会（脇部長） ありがとうございます。今のご説明も踏まえて何かご意見がございますか。
- 教育委員（三宅委員） 学校で県外から転入して来られた方について2週間自宅で様子を見るというような取り組みをされていますか？
- 学校教育課（井上課長） 一つの例で申し上げます。外国人の英語指導の助手がおります。少なくとも2週間は、学校に勤めない。さらに、これまでの行動歴を調べながら確認している間は、学校には出勤しないという措置を取っております。また、個別に海外から戻って来られた保護者の方には、念のためお子さんの登校を控えていただく措置を取っております。すみません。一例で申し上げます。

- 教育委員（三宅委員） 今までの経過をみると大人が子供にうつして、子供が拡げている。なので例えば保育士さんたちの健康管理などが非常に大切になってきますのでこのところはしっかり対策を取っていただきたい。
- 教育委員（児島委員） もし延期が決まったとしてこの1か月で終息すればよいが終息しないことも考えておかなければなりません。何か総社市独自の支援のスタイルを教育現場と話し合っ作ってもよいのではないのでしょうか。
- 学校教育課（井上課長） ありがとうございます。このポータルサイトは、このような運用、活用をイメージしております。週に1回登校日を設けることができたなら、その日に1週間分の学ぶべき課題を学校が提示します。先般、各家庭のICT環境を調べました。約90%の家庭がタブレットやスマートフォンなどなんらかのICT環境があることがわかりました。ただし、それは共用で使う子供が66%と1人1台端末にはなっておりません。この状況からみるとやはりオンデマンドがよい。子供たちが学べる状況にある時に学びたいものを自分の必要に応じて学ぶことができる。そのメリットは、配信して終わりではなく、自分の学びの進捗に合わせて繰り返し学ぶことができます。これは、長丁場になれば、コンテンツも膨れ上がってくると思いますがそこはしっかり学校現場とタグを組んで取り組んで参りたいと思います。市のホームページにリンク集だけをアップして紹介するものではなくて、これは独自に外部のサーバーにオリジナルのポータルサイトを新規に立ち上げる事業です。ここにオリジナリティを持たせてチャレンジしていきたいと思います。さらに申し上げますと1割の子供たちがICT環境にありません。まずは、アナログにはなりますが対面の中で紙媒体や電話連絡でしっかり学ぶべき内容をサポートしていきたいと考えています。
- 教育委員（児島委員） タブレットのない子供たちには市から貸してあげることも可能ではないですか？
- 学校教育課（井上課長） しっかり研究して参りたいと思います。ありがとうございました。
- 司会（脇部長） ありがとうございます。他にご意見がございますか。
- 教育委員（小鍛冶委員） 保護者の立場として申し上げます。いろいろ考えていただいています一方通行のやり取りではなくて、発信していただいたら子供たちからもなんらかの合図があるようなキャッチボールができるサポートをしていただきたいと思います。

ます。よろしくお願いいたします。

- 司会（脇部長） ありがとうございます。他にご意見がございますか。ご意見がないようでしたら閉会させていただきたいと思います。本日のそうじゃ総合教育会議のご議論を踏まえまして、教育委員会におかれましては、ご判断いただければと思います。それでは、これを持ちましてそうじゃ総合教育会議を閉会させていただきます。皆様、ありがとうございました。

閉会 午後4時50分